

二王子岳山行記録



目的地	二王子岳	期 日	平成17年4月10日(日)
山人	笠原正雄単独	特 記	春山最高。飯豊パノラマスクリーン全開。

地名	(着)～(発)	天候	記 事
与 板	午前4:30発	快晴	中野集落辺りで軽アイゼンを忘れたことに気づき一度戻る。(15分ロス) 今度はR8を嫌ってR116に行く。新潟に入る頃大きい太陽が昇ってくる。
南股林道入口	6:30～7:05	〃	二王子温泉前を通り、姫田川に沿い、南股部落へ。部落を過ぎ林道に入るがすぐに雪でストップ。道脇に駐める。同様の車が数台あり。すぐにもう1台来て後ろに駐まる。新潟市からの50歳程の単独者(N男)。彼はこの山は、年一度は来ると言う。猿が2～3匹里の田んぼの上を駆けていった。
二王子神社	7:50～8:05	〃	N男と共に林道を歩く。途中で山道に入り清浄橋を渡り神社到着。トイレ。すでに汗をかき上着1枚脱ぐ。
神子石	8:35	〃	N男と一緒にスタート。杉の林に行く。小川を数度左右に渡る。N男が先を進む。この辺りからやや登りとなる。8:45尾根に上がる。(注:※)
一王子神社上	9:10～9:20	〃	神社の小屋は青い屋根が出ているのみで雪の中。見通しの良い尾根でN男と共に雪に腰をおろして休む。焼峰山と蒜場山を確認する。この後緩やかな尾根に行く。加治川側からの風は強いが海側は穏やか。生暖かい風だ。
独標(定高山)	10:00～10:20	〃	積雪計柱は3.2mを示す。N男が先に到着していた、そして先行する。数人が登って来て追越して行く。ワカン装着。鴨池の登りの人が見える。前日入山で高知山経由の夫婦と話し込む。夫婦で各々Geko 201と301を持っている。やや登って一度少し降りて鴨池へ。
鴨池の登り	10:40	〃	登りきると稜線歩きとなり、左下にスキー場。楡形山脈も見える。
油こぼし	11:10	〃	鴨池の登りより少し長い。上部の雪は浅い亀裂となっている。ここを過ぎれば緩やかな稜線歩きが続く。右に赤津山を見る。山頂小屋も見えてくる。
二王子岳山頂	11:55～1:10	〃	稜線歩きからやや登って9合目雨量計を経て到着。手前に2坪程度土が出ていて、N男が休んでいた。青春の鐘の下に降り陣取る。この景色を前に休んでいるうちに飯豊の山中に居るような錯覚に陥ってしまった。
油こぼし	1:25	〃	ワカン下りは楽しい。先程より雪の亀裂が大きくなっていて。シリセードで降りる。(これを楽しみに最初からビニールズボンをはいて歩いた)
独標(定高山)	1:50～1:55	〃	スキー下山の人々につられて、ハイペースであった。
一王子神社上	2:10～2:15	〃	この後ブナの尾根を下るが、踏み跡を見ながら無意識に進んでいった。
コースはずれ		〃	※地点で尾根を右に降りなければならぬところを直進してしまった。N男が歩いている。コースはずれに気づき、2人で尾根に上がったり、沢をのぞき込んだりして、ルートを選んで沢に降り、小さい沢だが踏み抜きに気をつけてこれを越す。杉の林にかき上がる。
コースに戻る	3:05	〃	結局、神子石を巻いて杉林のコースに戻ったこととなった。
二王子神社	3:15～3:25	〃	ワカンをはずす。N男と話しながら駐車地点まで行く。
南股林道入口	4:00～4:15	〃	山頂後発の夫婦が靴を脱いでいた。我々を見て怪訝そうな顔をしていた。
与 板 着	7:05		帰路「菊水お晩です」を買う。R8渋滞で遅くなる。

7年前、朝子の中3のとき一緒にこの山を登った。入山者が多く込んでいたし、道もえぐられている所があったり、景色もそれ程でもなく好印象は無い。しかし飯豊の山々には圧倒された。ところが、雪の山は一転、コース・景観は素晴らしい。今季の山行中特出している。またこの日は平地でも最高気温25度を超える暖かさで、上山時ところにより風は強かったものの、最高の快晴であった。下りでコースはずれがあったが、ルート探しも終わってみれば楽しいひと時であった。明日にでも、もう一度行きたくなるほどに快適な山行であった。